

# 令和2年度氷川保育園事業報告・決算報告(抜粋)

## 事業概況

令和2年度は、コロナ感染対策を徹底した保育となりました。特に、幼児クラスにおいては園児数が少ない為、縦割りとなっていた保育を廃止して、年齢毎の保育に切り替えました。しかし、国の職員配置基準を満たす為には人件費の負担増となる為、職員で出来る事の見直しを図り、外部委託の見直しと、事業・事務費のコスト削減に取り組みました。また、長年改善計画(案)として現場から意見が上がっていた「乳児クラスの手洗い場」を「コロナ対策包括事業補助金」を利用して構築し、感染予防に努めました。

職員の意識改革として、過去の振り返りではなく、過去の積み重ねから、「どう未来を構築するか」に考え方を考える様に取り組みました。会議の度に「昔は」「今までは」「うちの施設は」と言うフレーズが聴かれ、外部を経験してきた職員が意見をしにくい環境がありました。まず、今年度は多くの意見を出し合い決して否定せず、役職・年齢を問わず肯定的に議論するように心がけました。職種を問わず意見を出し合うことで、コロナ禍であっても対策・対応が練られて、多くの行事を実行することが出来ました。

運営状況では、感染予防を第一に予算の執行に努めました。

施設整備では、保育倉庫の老朽化の為、新倉庫を構築し、空いたスペースを職員駐車場としました。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和3年3月31日
資産・負債の内訳		氷川保育園
資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		31,911,738
2. 固定資産		***
固定資産合計		258,477,275
資産合計		290,389,013
負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		2,409,058
2. 固定負債		***
固定負債合計		12,981,854
負債合計		15,390,912
差引純資産		274,998,101

拠点区分貸借対照表			令和3年3月31日
			氷川保育園会計
		借方	貸方
流動資産		31,911,738	
固定資産		258,477,275	
資産の部合計		290,389,013	
流動負債			2,409,058
固定負債			12,981,854
負債の部合計			15,390,912
基本金			17,970,000
国庫補助金等特別積立金			5,800,000
その他の積立金等			95,000,000
次期繰越活動収支差額			156,228,101
純財産の部			274,998,101
負債・純財産の部合計			290,389,013

拠点区分資金収支計算書			令和3年3月31日
(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日			氷川保育園会計
勘定科目		氷川保育園会計	
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計	119,836,108
		事業活動支出計	116,559,673
		事業活動資金収支差額 ( - )	3,276,435
	施設整備 その他活動	施設整備等収入計	0
		施設整備等支出計	3,093,039
		施設整備等資金収支差額 ( - )	-3,093,039
	その他の活動	その他の活動による収入計	0
		その他の活動による支出計	1,000,000
		その他の活動資金収支差額 ( - )	-1,000,000
		予備費 ( )	0
	当期資金収支差額合計 = + + -	-816,604	
	前期末支払資金残高	30,319,284	
	当期末支払資金残高 ( + )	29,502,680	

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。